

関係者各位
プレスリリース

平成 20 年 9 月 2 日
東北アスベスト診断士協会

東北アスベスト診断士協会設立

このたび、株式会社アスベストセーフネット（本社：仙台市泉区）の代表取締役である佐々木 一弘が発起人となり、東北アスベスト診断士協会を設立するため、平成 20 年 8 月 28 日（木）に設立総会を開催いたしました。

【背景と経緯】

アスベスト診断士とは、①建築物等のどこにアスベストが使用されているかの診断、②建築物等に使用されているアスベストの処理要否診断、③建築物等の解体等処理工事に対する適正工事のチェック診断、この 3 つの力量を兼ね備えた者として、社団法人日本石綿協会が認定する資格者で、平成 20 年 5 月現在 610 名が登録されています（社団法人日本石綿協会ホームページより）。

アスベストによる健康被害に対する報道や人々の環境意識の高まりから、アスベスト診断に対する需要は増えつつあります。このため、アスベスト診断の専門家であるアスベスト診断士の役割が重要になってきています。

このような現状を踏まえて、協会を設立することにより、個々に活動している診断士が連携し、アスベスト診断に関する情報の共有を図ることで、診断能力の更なる向上が期待されます。

九州アスベスト診断士協会が平成 20 年 3 月 28 日に設立されたのを皮切りに、中国・四国アスベスト診断士協会（同年 4 月 30 日設立）、関西アスベスト診断士協会（同年 5 月 16 日設立）、関東アスベスト診断士協会（同年 7 月 3 日設立）が順次設立されていきました。そして、ここ東北でも佐々木の呼びかけに志を同じくする診断士 9 人が総会に参加し「東北アスベスト診断士協会」設立の運びとなりました。

【総会の概要】

総会には、佐々木の呼びかけにより、東北で活躍する診断士 29 名中 9 名が出席いたしました。また、来賓として関東アスベスト診断士協会会長である三尾 秀紀氏（㈱三尾建設ハウジングコミュニティ（本社：東京都大田区）代表取締役）に出席いただき、総会出席者に対して九州アスベスト診断士協会設立から関東アスベスト診断士協会設立までの経緯とその趣意・理念をご説明いただきました。

総会では、会長が発起人である佐々木一弘（㈱アスベストセーフネット代表取締役）に決定し、更に協会の目的や活動内容が話し合われました。その結果、当協会は以下の 3 つを目的とすることを決議いたしました。

- (1) アスベスト診断士としての診断能力の向上
- (2) アスベスト診断士としての節度ある行動規範の確立
- (3) アスベスト関連情報ネットワークの確立と共有

また、目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行うことといたします。

- (1) アスベスト対策に関する研修事業
- (2) アスベスト関連情報の発信・啓蒙活動
- (3) アスベスト対策に関する教育事業
- (4) その他、アスベスト対策関連事業

具体的には、年2回程度の研修事業を実施し、アスベスト診断士としての個々の能力を高め、引き続き東北在住・在勤のアスベスト診断士の方々に対して設立趣意をご理解いただきながらネットワークの輪を広げて生きたいと考えております。

〈東北アスベスト診断士協会概要〉

団体名：東北アスベスト診断士協会

事務局：宮城県仙台市泉区高森二丁目1番地の40

21世紀プラザ研究センター 104号室

株式会社アスベストセーフネット内

設 立：平成20年8月28日

〈連絡先〉

会社名：株式会社アスベストセーフネット

担 当：佐々木 一弘 e-mail sasaki@asbestos-safe.net

TEL 022-342-5682

FAX 022-342-6086